

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	6. 地域公共交通対策事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	11. 交通安全対策費	担当所属	都市計画課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	5年間計画額	428,558
臨時	単独	計画	0	0	94,773		基本施策1	都市計画・公共交通	令和3年度	0
									令和4年度	127,254
									令和5年度	146,361
							施策2	持続可能な公共交通網の形成を推進します	令和6年度	154,943
								令和7年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	14,644	
本年度当初査定額	14,644	125,816

財源内訳	諸収入						一般財源
本年度当初要求額	14,644						△14,644
本年度当初査定額	14,644						111,172

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 地域公共交通会議を開催し、公共交通に関する協議や地域公共交通網形成計画の進捗管理を行います。 佐倉市コミュニティバス(5ルート)を運行するほか、単独では存続が困難な民間バス路線への助成を実施します。 公共交通を利用しやすい環境整備を図ります。</p>	<p>(事業の目的) 地域の公共交通網を維持し、交通空白地域の解消を図るほか、公共交通を利用しやすい環境整備を図ることで、地域住民の生活を支え、安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的としています。</p>	<p>(事業の効果) コミュニティバスの運行や路線バスへの助成により、交通空白地域を解消し、新たな交通空白地域が発生することを抑制できます。 地域公共交通会議における協議や交通事業者との連携を図ることにより、持続可能な地域の公共交通網を実現していくための仕組みが構築できます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 公共交通は新型コロナウイルスによる影響を大きく受けており、今後の見通しも不透明な状況です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 地域公共交通会議の開催回数と旅費相当額の再精査を行い、要求額の減額を行いました。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	45	0	45
10	243	176	67
12	109,964	109,389	575
13	264	264	0
14	1,300	8,000	△6,700
18	14,000	0	14,000

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
		22	05	04	01	50	34	コミュニティバス事業収入	14,644	14,644	13,003
差引一般財源								△14,644	111,172	△13,003	124,175